

今夏、熱中症警戒アラートが道内全域に発表されるなど、北海道の気候が変化し、本州並みの暑さとなっていることを踏まえ、子どもたちの命と健康を守るため、ソフト・ハードの両面から暑さ対策に取り組む。



ソフト面

項目	改正等の概要	今後の対応
夏季休業の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 夏季休業及び冬季休業の総日数を50日から56日に変更（道立学校管理規則の改正 R5.11.22）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種会議の場などを通じて、改正の趣旨を丁寧に説明。</li> </ul>
予防対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 暑さ指数が31℃を超えた場合、体育活動や部活動を「原則中止」とする取扱いを徹底</li> <li>● 中体連や高体連等の関係団体に対し、大会等の実施に当たり、熱中症対策に万全を期すよう要請（熱中症対応マニュアルを改訂 R5.11.22）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種会議の場や教員研修の機会を通じて、その趣旨を丁寧に説明。</li> <li>○ 中体連や高体連等の関係団体との協議の場を設け、暑さ対策に関する検討を推進。</li> </ul>
熱中症警戒時対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 熱中症警戒アラートの発表時には、各学校において、学校の環境等を勘案しながら、臨時休業の実施を検討（熱中症対応マニュアルを改訂 R5.11.22）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種会議の場や教員研修、家庭向けリーフレット等を通じて、「熱中症に関する危機管理マニュアル」の改訂の趣旨を丁寧に説明。</li> </ul>

ハード面

## 道立学校校舎空調整備費

（令和5年第4回北海道議会・教育費補正予算 R5.12.14議決）

- 道立学校における熱中症対策の強化を図り、安全安心な教育環境を確保するため、空調設備及び簡易型空調機器を整備

区分		特別支援学校	高等学校
空調設備 (R7稼働)	整備校数	肢体不自由 5校 知的障害(小中併置) 20校	/
	設置台数	626台（普通教室各1台）	
簡易型 空調機器 (R6稼働)	整備校数	全66校	全190校
	整備台数	2,152台 （普通教室・寄宿舍舎室各1台）	4,332台 （普通教室各2台）



空調設備



簡易型空調機器



## 目的

高等学校(中等教育学校後期課程を含む。)及び特別支援学校高等部の生徒が取り組んだ探究活動の成果を発表・交流する機会を設定し、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力を育成するとともに、探究活動の成果を新たな探究に結び付け、生涯にわたって能動的に学び続ける資質・能力を育成する。  
(主催)北海道教育委員会、国立大学法人北海道大学  
(協力)北海道、札幌市、株式会社ニトリホールディングス

## 日程等

日時:令和6年2月1日(木)  
場所:北海道大学 学術交流会館

8:45 受付

9:45 開会

### 探究活動成果発表 (ポスターセッション)

- ▶ 北海道内の各ブロック代表校等が一堂に会し、ポスターセッションによる交流を実施
- ▶ 参加数(想定):28チーム

(昼食)

### 北海道と他都府県の生徒による探究活動の交流(Zoom)

- ▶ 北海道と他都府県の生徒が、Zoomを活用による探究活動の発表・質疑等の交流を実施
- ※他都府県参加校数:8校

15:40

### 表彰・閉会

北海道知事賞、札幌市長賞、北海道大学賞、ニトリ賞、英語発表部門賞、ゼロカーボン探究賞

16:00

